

和服寸法設定の推移について (第3報)

標準寸法とその実態

高 月 智志子

On the Change of the Establishment of Measurement of the
Japanese Clothes (3)
The Standard of Measurement and its Actual Employment

Chishiko TAKATSUKI

In relation to the establishment of measurement of the Japanese clothes, the role of the standard measurement is great. The question, however, is how the standard measurement has changed in accordance with the improvement of Japanese physique. The author, therefore, intends to clarify the problems concerned by making investigations into the measurement which has been actually employed.

序

和服裁縫の伝承方法が、古くは口伝による秘伝として受け継がれてきたため、その寸法設定方法は詳かではないが、元禄時代に相応裁という方法が行なわれていた。しかし、それ以後のものでは、この種の手法は全く見ることが出来ず、江戸時代の主流をなしていたと思われるものは、布丈、布巾による設定方法で、上原素白の「裁縫早手引」(1830年)によると、「今絹布巾尺、新渡、古渡の相違ありて、先事既任不合時によって云々」と述べている、このことからあきらかである。

この手法は明治、大正まで散見できたが、現在では全く用いられていない。

江戸後期より、明治初期にかけて、時代の移り変りとともに、着物の着装方法も徐々に変化し、着装による寸法設定方法がみられるようになった。この方法は、着物を着てみて、より美しく見えるように、その寸法を加減するといった方法で、現在の標準寸法をもとに、これを加減し、体格に合わせるという、寸法設定方法の主流をなすものである。この手法から発展したものが、普通寸法である。

一方、明治から大正に移り、洋服が一般化して来るようになってからは、洋裁技術の影響を受け、採寸、割出しによる寸法設定方法が次第にその主流をなすようになってきた。また、戦後は衣生活の中心が和服から洋服に移行して、ますます洋裁技術の導入がこころみられ、立体的採寸が行なわれるようになってきている。

また、着装美の要素として、均衡がとれていることが、大切な要素であるところから、土井は、黄金分割による寸法設定を提唱している。

このように、多くの先人によって、こころみられてきた寸法設定の手法も、未だその基本的基準

は確立されてはいない。これは、和服の形態そのものが、単純で、平面的なものであり、丈、巾とも多くのゆるみ加えられて製作されているため、多少の寸法の不都合は、着装の仕方によって、個人の体格に合せられるという特徴があり、そのために寸法設定の困難さもある。そこで、従来最も多くの人々に用いられてきた、標準寸法について、専門図書、教科書等に示された寸法が、どのような寸法であるのか、また、国民の体位向上がうたわれている現在、若い人達に用いられている大裁女物単長着寸法の実態を調査し、問題点を明らかにしてゆく。

1. 標準寸法

裁縫の伝承方法が、口伝により受け継がれてきたため、仕立上げ寸法は古くは文献に記録されずに来たが、明治に入り、学校教育の中で、裁縫がとり上げられるようになって、仕立上げ寸法が裁縫書の中に見られるようになった。

中尾宗七は、「普通裁縫書」⁹⁾の中で、「通常衣服の寸法は、普通重立たる寸尺を記するのみその他は、銘々の適宜にすべし」と述べている。これが、後の標準寸法に発展していくものであるが、当時の普通寸法は、従来の経験により、積重ねられた寸法を普通寸法として用いたものである。

神田順子は、「裁縫新教授書」¹⁰⁾の中で、「衣服を裁ち縫いするには、先ずその仕立上げの寸法を定めおかざるべからず、そは衣服の種類及びこれを着用する男女の体格、年令等に依りて自ら普通の定まりあるものなれども、また人々の身体に適当し動作に便なる様為さざるべからず、且寸法は上着を以て標準として定まるものなれば、…」と述べている。又、錦織竹香は「増訂普通裁縫教科書」¹¹⁾の中で、「衣服各部の寸尺は、男女、老若、肥瘦、長短、時の流行等に依りて各異なるものなれども、大凡そ、寸尺概定覧表を標準として、その人々に適したる寸尺に定むべし」と述べ、中村ヨシは、「これからの和服裁縫」¹²⁾の中で、「人の体格は、一様ではない。又、着方や好みも各人それぞれ特徴があり、時代の流行もある。したがって、出来上りの寸法は着用者の体型を基準とし、着付け、年令、職業、流行、好み等を考慮して着装美が自ら表現されるように定めるのが合理的である」と述べ「しかし、従来利用されている標準寸法も多くの人々の実験の結果得られたものであるから、これも参考とし、これを検討し、多少の斟酌を加える程度でよいと思う」と標準寸法を一定の目安として、その寸法を増減することにより、個人の体型に合せようとしたもので、現在も一般に最も多く用いられている方法である。

表1 明治より現代に至る体格の推移

年度	名称 年令	身長		体重		胸囲	
		20才	24才	20才	24才	20才	24才
M	33	147.9	146.1	48.0	47.0	79.1	77.9
	36	147.3	148.2	47.3	45.8	75.5	74.8
	39	148.8	147.9	47.8	46.1	76.7	76.4
	42	149.1	151.5	49.0	46.3	78.5	75.8
	45	149.4	148.5	48.7	47.1	79.4	79.4
T	4	149.4	149.7	49.0	46.5	78.8	77.3
	7	149.7	149.7	49.7	50.9	78.8	78.5
	9	150.9	148.5	49.4	45.5	81.2	77.9
	12	150.3	148.5	50.3	51.4	80.3	82.7
	15	151.1	149.1	48.6	46.4	77.9	77.5
S	4	151.2	152.4	49.0	50.9	77.9	79.6
	7	152.3	152.3	49.2	47.8	77.9	77.8
	10	152.5	153.2	49.5	50.3	78.2	79.5
	13	153.0	150.9	49.7	47.9	78.5	77.5
	14	152.7	152.5	49.6	48.3	78.5	78.9
	23	154.0	153.5	51.4	50.5	81.2	80.2
	26	153.8	153.9	50.0	50.2	80.9	80.7
	29	154.1	153.2	49.6	49.0	80.7	80.8
	32	154.6	154.1	50.2	49.2	81.0	81.1
	35	154.7	154.2	50.1	48.9	80.7	80.9
	38	155.0	154.7	50.2	49.6	81.0	81.2
	40	155.4	154.7	50.8	50.1	81.6	81.6
	42	155.4	154.5	50.9	49.9	82.3	82.5
	増加	7.5	8.4	2.9	2.9	3.2	4.6

2. 成人女子の体格と和服標準寸法の推移

戦後、我が国の衣生活の変化と共に食生活の改善が叫ばれ、都市を中心に、その体格は徐々に欧米型に類似してきたと伝えられている。特に女子の体位の向上は著しく、文部省学校統計報告書によると、表1のように、20才～24才の女子に於いて、身長は7.5cm～8.4cmの伸びを見ることが出来、体重は2.9kgの増加、また、胸囲においても、3.2cm～4.6cmの増加を見せている。特に身長に於いては、明治、大正時代には、女子の平均身長は、150cm未満であったが、1967年工業技術院が行なった、全国調査によると、18才～29才

表2 大裁単長着標準寸法(女)の推移

年齢	袖丈	袖口	袖付	袖中	身丈	着丈	ゆき	肩中	後中	前中	抱中	衿肩明	衿下り	衿下	社中	合襟中	身つ八口	衿中	縦越	図行標準発度
1	51.1	24.6	32.1	32.1	151.5		62.5		28.4	24.6			22.7	75.7	15.1	13.2		11.3		M12
2	56.8-53	24.6	28.4		151.5		60.6		28.4	22.7	20.8	8.7	22.7	68.1-71.9	15.1	13.2	11.3			13
3	56.8	22.7			151.5		62.5		28.4	24.6				76.7	17.0		15.1			16
4	56.8	24.6	27.7	32.9	151.5		62.5		28.4	22.7	19.6	8.7	22.7	75.7	15.1	13.2	15.1			30
5	56.8	22.7-24.6	24.6-28.4	32.1	143.9-151.5		62.5		28.4-30.3	22.7-24.6		9.4	22.7	68.1-75.7	15.1		12.5			31
6	56.8	24.6	24.6	32.1	1バイ		62.5		28.4	22.7	20.8	8.3	22.7	71.9	15.1	13.2	11.3			34
7	58.7	24.6	24.6	32.1	1バイ		62.5	30.3	28.4	22.7	20.8	8.7	22.7	71.9	15.1	13.2	11.3			36
8		22.7		32.1			62.5		28.4	22.7	20.8		22.7	71.9	15.1	13.2	9.4			37
9	56.8	24.6	26.5	32.1	151.5		62.5	30.3	28.4	22.7	20	8.7	22.7	70.0	15.1	13.2	11.3			38
10	58.7	22.7	24.6	32.1	140.1		62.5		28.4	22.7		8.3	22.7	75.7	15.1	13.2	11.3			42
11	56.8	22.7	26.5	32.1	151.5		62.5		28.4	22.7	20	8.7	22.7	75.7	15.1	13.2	11.3			45
12	56.8	22.7	24.6-28.4	32.1	151.5		62.5	30.3	28.4	22.7		8.7-9.0	22.7	75.7	15.1	13.2	11.3			45
13		20.8-24.6	24.6-30.3		着丈に準じり計る		60.6		28.4	22.7		7.5	22.7	56.8	15.1	13.2	11.3			45
14	60.6-53	22.7-24.6	22.7-34	32.1	143.9-151.5		60.6-64.3		28.4-30.3	22.7		8.3-8.7	22.7	68.1-75.7	15.1	13.2	11.3			T 2
15	56.8	22.7-24.6	22.7-24.6	32.1	151.5		62.5		28.4	22.7		9.4	22.7	75.7	15.1	13.2	11.3			3
16	60.6	24.6	24.6	32.1	151.5		62.5		28.4	22.7			22.7	75.7	15.1	13.2	11.3			3
17	58.7	22.7-24.6	24.6	32.1	1バイ		62.5	30.3	28.4	22.7	20.4	8.7	22.7	71.9	15.1	13.2	11.3			5
18	57.5	22.7	22.7	30.3-32.1	149.6		60.6-64.3	30.3-32.1	28.4	24.6		8.3	22.7	75.7	15.1	13.2	11.3			5
19	66.2	22.7	22.7	34.0	背丈に準じ		60.6		34.0			9.4	22.7	75.7	15.1	13.2	11.3			5
20	56.8	22.7-24.6	22.7-24.6	32.1	151.5		62.5		28.4	22.7			22.7	75.7	15.1	13.2	9.4			5
21	56.8	22.7-24.6	26.5	32.1	151.5		62.5		28.4	22.7	20.0	9.4	22.7	75.7	15.1	13.2	11.3			5
22	60.6	22.7	24.6	32.1-31.4	145.8		60.6-64.3	30.3-32.1	28.4	22.7			22.7	71.9	15.1	13.2	11.3			8
23	56.8-66.1	22.7-24.6	22.7-28.4	32.1	140.1-159.0		60.6-62.5	30.3	28.4	22.7		8.7	22.7-24.6		15.1	13.2	11.3			8
24	56.8	24.6	26.5	32.1	151.5		60.6-62.5		28.4	22.7	20.8	8.7-9.0	22.7	75.7	15.1	13.2	11.3-15.1			10
25	56.8	22.7	26.5	30.3	151.5		60.6		30.3	22.7			22.7	71.9	15.1	13.2	9.4			10
26		22.7-24.6	24.6-29.9	30.3-32.1	1バイ		60.6-62.5		28.4	22.7			22.7	75.7-70	15.1	13.2	11.3			11

名前 推定 番号	袖 丈	袖 口	袖 付	袖 巾	身 丈	着 丈	ゆ き	肩 巾	後 巾	前 巾	抱 巾	衿 肩明	衿 下り	衿 下	衿 巾	合 襟巾	身つ 八口	衿 巾	緑 越	園行 書年 発度
27	59	23	23	32.5	1バイ		62.5		28	23		8.7	23	76	15.5	13.5	11.3			T12
28	68.1~49.2	24.6~22.7	22.7~30.3	32.1	143.9		62.5	30.3	28.4	22.7~24.6		8.3~8.7	22.7	68.1~75.7	15.1	13.2	11.3	5.6~11.3		12
29	60	23	23~26	32	150内外		62	30	28	23		○10	23	72~76	15	13	12	11		13
30	60.5	23~24	24	32	150		62.5		28.5	23		8.5~9	22.5~23	73~75	15	13.5	12~14	11		13
31	55~70	23~25	23~30	32	145~150		62	30	29	23~25		8.5	23	68~75	15	13.5	11	11		13
32	60	23~25	25内外	32.5	150		63	30.5	28.5	23		○10	23	75	15	13.5	13	11		13
33	61	23	25	32	148		63	30	28	23	21	9	23	76	15	13	11	11		13
34	56.8	22.7~24.6	22.7~26.5	30.3~32.1	151.5		60.6~62.5		28.4~30.3	22.7~24.6	19.6~20	9.4	22.7	75.7	15.1~16.2	13.2	9.4~15.1	11.3		14
35	57~60	23	25	32	145内外		62~62.5	30	28.5	23			23	75	15	13	13~15	11		14
36	58.7	22.7~24.6	22.7~26.5	32.1	145.8		62.5	30.3	28.4	22.7	20.8	8.3	22.7	75.7	15.1	13.2	11.3	5.6~11.3		14
37	57	23	25	32				30	29	23			23	76	15		13	11	2	14
38	61	23	24.5	32	146 1バイ		62.5		28.5	23		8.7	23	76	15	13.5	11.5	11.4		14
39	57	23	25	32	150内外		62.5	30.5	28.5	21		9	23	75	15	13.5	13	11		14
40	60	23	23~25	32.5	150内外		62.5	30	28	23	21	8.7	23	75内外	15	13.5	13	5.5~11		14
41	53~60.5	23~24	24~28	32	150~155				28.5	23		9	23	75	15	13.5	11~15	11		15
42	61	23	25	32	148		62.5		28.5	23		8.5	23	76	15	13.5	11.5	11		15
43	58.6	22.7	24.5~32.1	32.1 30.3 32.1 32.5	151.2		62.4	30.3	28.3	22.7		9.5	22.7	71.8	15.1	13.2	11.3			15
44		22.7~24.6					60.6~62.5	30.6	28.4	22.7			22.7	70.4~75.7	15.1	12.8		11.3		15
45	60	23	23	32	150		62		28	23		8.5	23	70~75	15	13.5	13	11.5	2	15
46	40~60	23	25	32	148	125~130	62	30	28	23		○10	23	75内外	15	13	12	6~11		S 2
47	56.8	24.6	26.5	32.1	151.5		62.5		28.4	22.7	20	8.7	22.7	75.7	15.1	13.2		11.3		2
48	60	23	25	32	150内外 1バイ		62		28	23		9	23	75	15	13	13	5.5~11		2
49	57~64.5	22.5	22.5~26.5	32.5	150		61~62.5		28.5~30	22.5~25		8.5	22.5	68~76	15			5.5~11.5		2
50	68	23	25	32	148		63	30	28	23		9	23	76	15	13	11	6~11		2
51	60.6	22.7	22.7	32.1	151.5		62.5		28.4	22.7	20	8.7	22.7	75.7	15.1	13.2	11.3~15.5	11.3		2
52	60.6	22.7	24.6	32.1	147.7		62.5	30.3	28.4	22.7	20.8	8.7	22.7	75.7	15.1	12.5	11.3	5.6~11.3		3
53	55~75	21~23	21~23	32	150		62		28	23		8.5	23~21	70~75	15	13.5	12	11		4
54	60	23	23	32			63		28	23		8.5	23	76	15		12	11	1.5	6
55	50~60~64	23~25	19~25~30	32	150	128	62	30	28	23		8.7	22	75	15.3	13.4	13	5.5~11		7
56	60	23	23	32	150		63		29	24		8.5	23	75	15	13.5	12~15	5.5	1~2	8
57	56	23	23	32.5	150		62.5		28.5	23		8.5	23	75	15		13	11		9
58	60内外	23	25	32	150内外		62内外	30	28	23		9	23	75内外	15	13	12	5.5~11		9
59	60	23	23	32	148		63	31	29	23		9.5~10	23	75	15	13.5	13	11		9
60	53~70	23	17~20 23~26	32.5	150		62.5	30	28	23		9.5	23	76	15	13.5	13	5.5~11	2	12

61	60	23	23~25	32	148	130	62	30	28	23		○10	23	75	15	13.5	13	5.5~6.11		13
62	45~75	23	23~25	32	150	125~130	62	30	28	23		○10	23	70~75	15	13.5	13	11		13
63	60内外	23	23~25	32	150		62	30	28.5	23		9.5	23	75	15	13.5	13	5.5~11		13
64	54~76	20~23	20~27	32	140~150		63	30.5	28.5	23		○9.5~10	20~23	72~76	15	13.5	12~13.5	5.5~11		14
65	58.7	22.7~24.6	24.6~26.5	32.1	147.7		62.5	30.3	28.4	22.7	20.4	8.7	22.7	75.7	15.1	13.2~14	11.3	5.6~11.3		14
66	38~60	23	20~25	32	150		61~63	30	28~30	23~25		○10	23	75内外	15	13.5	12~14	5.5~11	1~2	14
67	60	23	23	32	○150		62	30	28	23		8.5	23	76内外	15	13.5	13~15	5.5~11	2	15
68	30~45	15~23	23~25	32~33	150	125~135	62~65		28~30	23~25		8.5	23	75内外	15	13.5	13~15	5~5.5	2内外	26
69	49~53	23	23	32	152~156		62~64	30~32	28~30	23~25		9	23	75~78	15	13.5	15	11~5.5 1バイ	3.5	27
70	50~65	23	19~23	32	150~155		62~63	30~31	28~29	23~24		8.5	23	76	15	13.5	15	11~5.5		30
71	40~65	21内外	20~26	32	150内外	130内外		30	28	23		8.5~9	23	75	15	13.5	13	5.5~11	2	33
72	45~50	20~23	19~23	32~34	150			30~32	28~30	23~25		○9.5~10	23	75	15		13	5.5~11		36
73	46~68	23	23	32	155	125~130	62	30	28	23		8.5~9	23	76	15	13.5	15	5.5~11		36
74	45~60	21~23	23	32~33	○150~160		62~65	30~32	28~29	23~25		○9.5	23	75~80	15	13.5	13~15	5.5~11	2~3	38
75	40~50	20~23	23	32~33	152	130	62~64	30~31	28~30	23~24		8.5~9	23	75内外	15	13.5	13~15	5.5~11	2~3	41
76		19~22	23	32~33	155		62~65	30~32	28~30	23~25		8.5	23	75~80	15	13.5	13~15	5.5~11	2	43
77	45~62	19~23	23	32~33	155			30.5~31	28~30	23~25		8.5	21~23	76~80	15	13.5	13	5.5~11	2	43
78	45~68			32~33	○155内外		62~64	30~31	28~29	23		○9.5	22~23	76~78	15	13.5	13~15	5.5~11	2~3	44
79	50~55	20~23	23~25	32~33	150~160		60~63	30	28	23		9.5	23	76~80	15	13.5	13	5.5~11	2~3	45

注 ○印は、裁切り寸法

表3 準寸法の時代別最小・最大寸法

名称 時代	袖 丈		袖 口		袖 付		袖 巾		身 丈		着 丈		ゆ き		肩 巾		後 巾		前 巾	
	最少	最大	最少	最大	最少	最大	最少	最大	最少	最大	最少	最大	最少	最大	最少	最大	最少	最大	最少	最大
明治	51.1	60.6	20.8	24.6	22.7	30.3	32.1	32.9	140.1	151.5			60.6	62.5	30.3		28.4	30.3	22.7	24.6
大正	49.2	70.0	22.7	24.6	22.7	32.1	30.3	32.5	140.1	159	125	130	60.6	64.3	30	32.1	28	30.3	21	25
昭和(戦前)	38	76	20	25	19	30	32	32.5	140	151.5	125	130	61	63	30	31	28	30	22.5	25
(戦後)	30	68	15	23	18	26	32	33	150	160	125	135	60	65	30	32	28	30	23	25
名称 時代	抱 巾		衿 肩 明		衿 下 巾		衿 下		衿 巾		合 襟 巾		身 八 つ 口		衿 巾		く り こ し			
	最少	最大	最少	最大	最少	最大	最少	最大	最少	最大	最少	最大	最少	最大	最少	最大	最少	最大		
明治	20		7.5	9	22.7		56.8	75.7	15.1		13.2		9.4	11.3	11.3	12.5				
大正	19.6	21	8.3	9.5	22.5	24.6	68.1	76	15	16.2	12.8	13.5	9.4	14	11	11.5	1			
昭和(戦前)	20	20.8	8.5	9.5	20	23	68	76	15	15.3	12.5	14	11	15.5	11	11.5	1	2		
(戦後)			8.5	9.5	21	23	75	80	15		13.4	13.5	13	15	5	11	2	3.5		

高月：和服寸法選定の推移について (第3報)

の女子1万人の身長の数値を計算すると、150cm未満が17%、151cm~160cmが70%を占めていると報告されている。

このような変化を来した体格に纏う衣服の寸法は、いったいどのような寸法になっているのか、明治より今日までの専門図書、教科書に示されている標準寸法について調べた結果は、表2の通りであった。また、その最小・最高寸法を時代別にながめてみると、表3に示すごとくである。

これによると、明治より今日まで、体位の発達加速現象が確認されながら、標準寸法の上では大

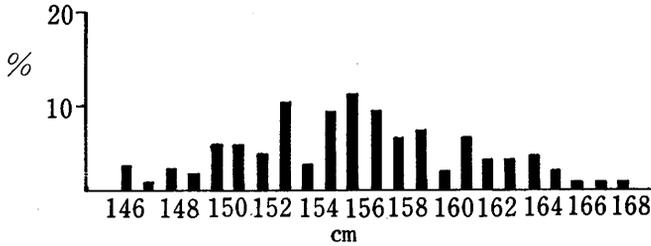


図 1. 本学学生の身長

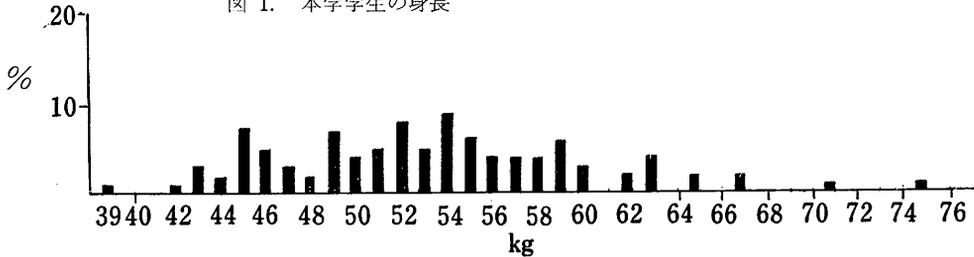


図 2. 本学学生の体重

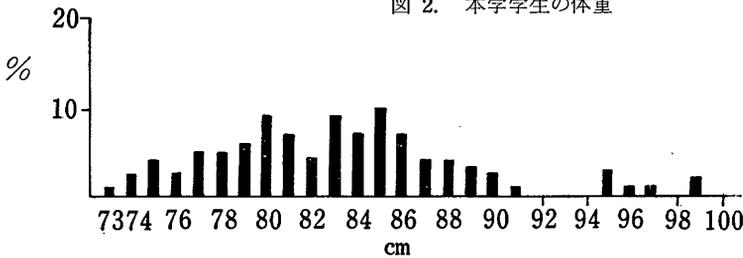


図 3. 本学学生の胸囲

表 6. 本学学生の長着寸法

名称	最も多く用いられていた寸法	最小	最高
袖丈	50	37	66
袖口	23	19	23
袖巾	21	20	23
袖丈	32-33	30	36
身丈	150-160	145	168
ゆき	62-63	60	70
後巾	28-29	26	31
肩巾	30-31	28	34
前巾	23-24	20	26
くりこし	2-3	1.5	4
衿肩	8.5	8.5	9.5
身八つ	15	13	16
衿下	23	20	24
衿下	76	73	88
衿巾	15	14	15.5
合襟	13.5	12	14
衿巾	5.5	5.5	6.5

表 4. 本学学生の体格

	身長	体重	胸囲
平均値	156.26	53.07	83.13
標準偏差	4.9	6.45	5.45

表 5. 全国青年の体格 (20才) 平均値

	身長	体重	胸囲
全国平均	156.5	51.1	81.6

高月：和服寸法設定の推移について（第3報）

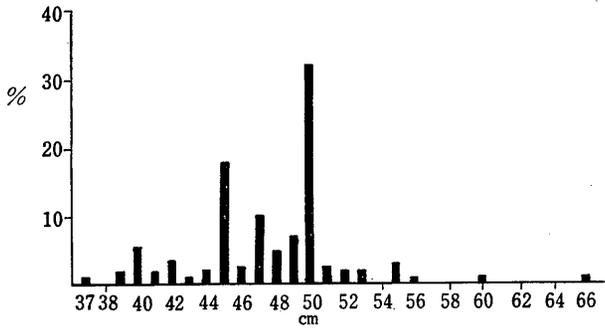


図4 袖丈

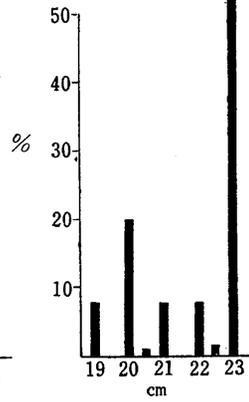


図5 袖口

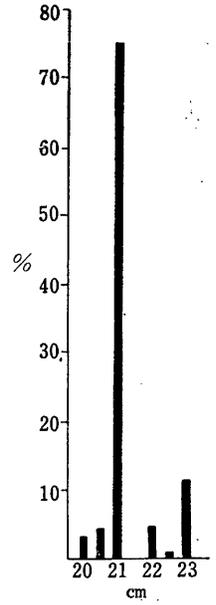


図6 袖付

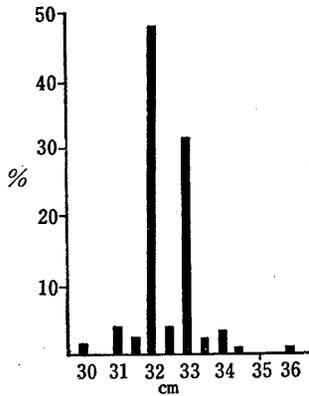


図7 袖幅

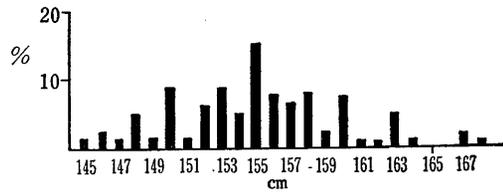


図8 身丈

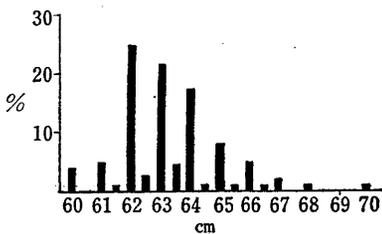


図9 ゆき

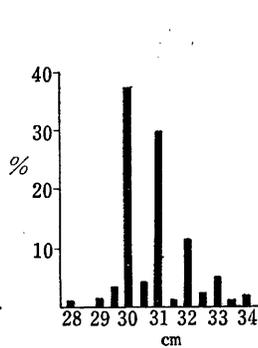


図10 肩幅

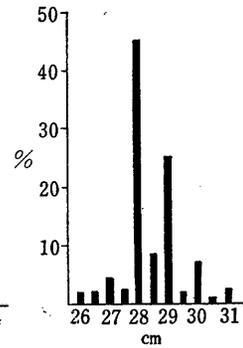


図11 後幅

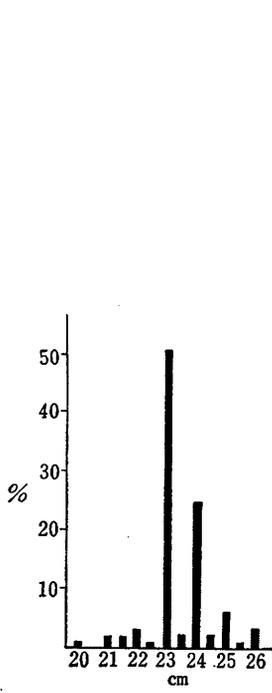


図12 前幅

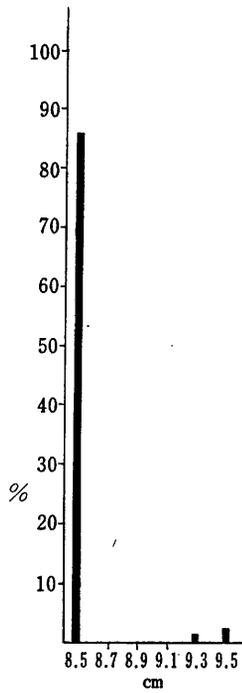


図13 衿肩明

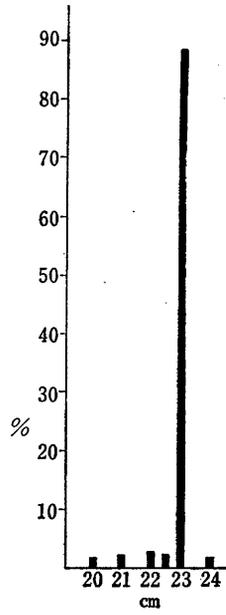


図14 衿下り

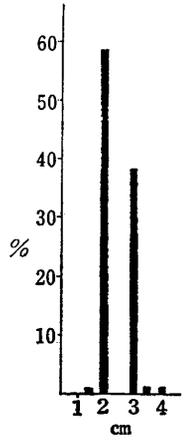


図15 くりこし

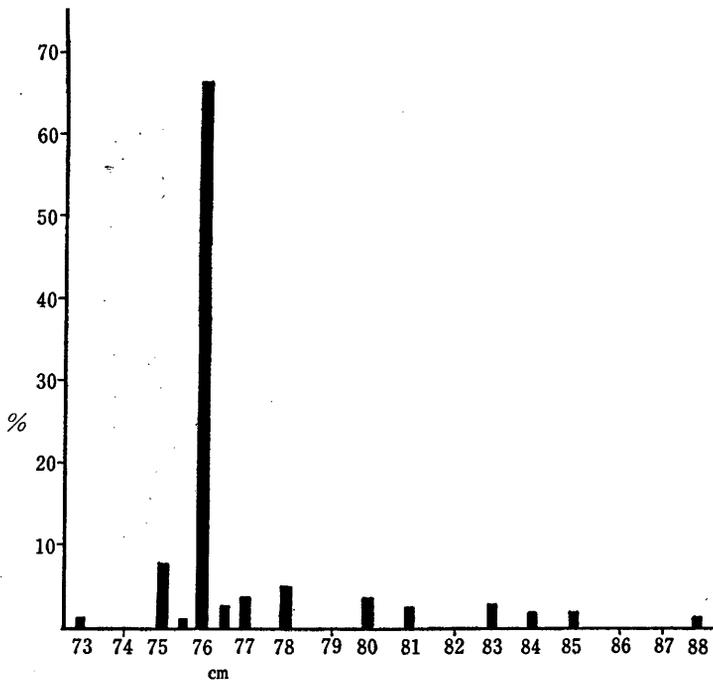


図16 衿 下

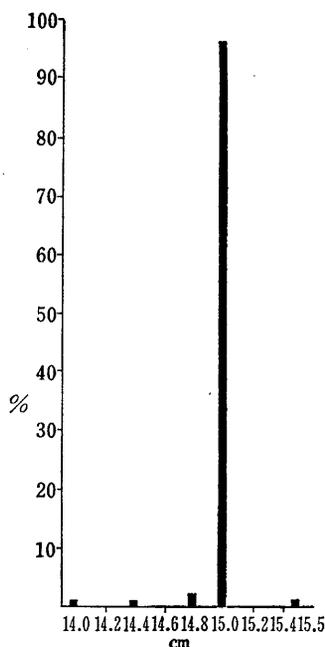


図17 衿幅

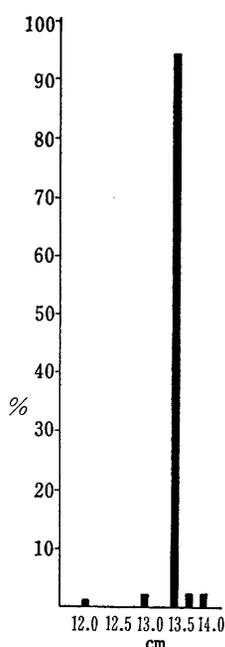


図18 合襟巾

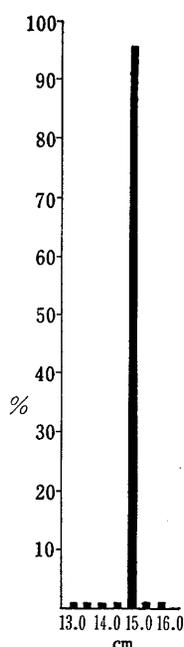


図19 身八ッ口

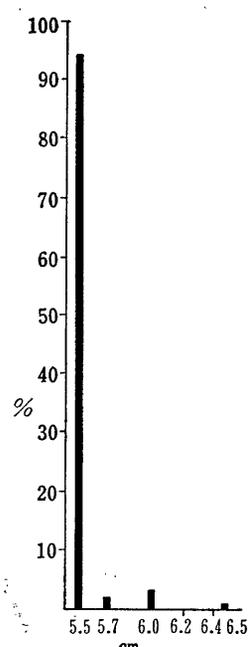


図20 衿幅

きな変化は認められない。しかし、明治、大正、昭和の戦前、戦後と徐々にではあるが、変化してきていることは、表3に示す通り明らかである。

寸法の変化には、体格の変化によるものと、時代の影響を受けるもの、即ち、流行により左右されるものがある。また着装状態の変化によっても異なるものである。

3. 本学学生の体格と大裁単長着寸法の実態

図書に現れた標準寸法は、多少の変化を示しはじめてきているが、実際に用いられている寸法は、どのような状態であるのか、その実態を、本学学生の製作物について調査を行なった。

被験者は、服飾美術科学生120名で、その身長、体重、胸囲については、図1、2、3の通りであり、その平均値、および標準偏差は、表4に示す通りである。これを厚生統計協会の調査による昭和45年度全国平均(20才)と比較すれば表4に示すように、身長はほぼ同じであるが、体重、胸囲に於いて、やや優れていた。以上のような、体格をもつ学生各自の製作物、大裁女物単長着の出来上り寸法は、図4～20に示す通りであり、最も多く用いられている寸法については、表6に示す通りであった。これを、表2に照合すると、ほとんど標準寸法と同じであった。

結 論

和服裁縫の伝承方法は、古くは口伝により伝承されてきたため、仕立上げ寸法については、文献に記録されずに来たが、明治に入り、学校教育の中で裁縫が採り上げられるようになってからは、仕立上げ寸法が、裁縫書の中に見られるようになり、これが次第に標準寸法として、多くの人々の寸法設定の目安として利用されるようになってきた。現在も尚、寸法設定の上に大きな役割を果している。

時代の変化とともに、国民の体位も向上し、特に女子の体位向上は、めざましいものがあるが、和服寸法については、全体的には昔も今もそれほど大きな変化は見られない。しかし、部分的には大きく変化を見せているところもある。実際用いられている寸法については、ほとんどが標準寸法と同じであった。

このことは、和服材料の布丈、布巾が、1反として限定されていることであり、またその形態が単純で、平面的なものであり、身丈、身巾ともに多くのゆりみを加えて製作されているため、多少の寸法の不都合は、着装技術によって個人の体型に合せられるという便利さが、今なお、多くの人々が、標準寸法に依存する理由があるものと考えられる。

しかし、図書に示された標準寸法も大同小異ではあるが、著者によりそれぞれ寸法が異なっていることは、和服裁縫の伝承方法の特異さによるものであり、また、寸法設定の基本的基準が今もなお確立されていないことを物語るものである。着装技術によって体型に合わせるのではなく、今後の和服標準寸法は、人間工学的視点から、体型の立体的測定は、もちろん、着装要因も充分考慮した上で、体型分類による、寸法設定の基本的基準が確立されなければならない。

終りにのぞみ、本論文の校閲を賜った松井和哥本学教授、島田俊秀鹿児島大学助教授に対し深く感謝致します。

引用・文献

- 1) 近藤寿和編：裁縫指掌上之巻，近藤寿和，15，(1879)
- 2) 渡辺辰五郎：普通裁縫教授書（巻二）渡辺辰五郎，27，(1880)
- 3) 中尾宗七：普通裁縫書（巻上）前川文栄堂，10，(1883)
- 4) 渡辺辰五郎：裁縫教科書，東京裁縫女学校，18，(1897)
- 5) 錦織竹香：増訂普通裁縫教科書，国文館，53，(1898)
- 6) 森井貞子・吉国治子：小学校教授用裁縫書（上巻）吉岡書店，176，(1901)
- 7) 谷田部順子・小谷野千代子：高等小学裁縫教科書，目黒書房，8～9，(1903)
- 8) 岩瀬松子：和服裁縫道しるべ（下巻）松陽堂，7，(1904)
- 9) 前田とみ子・宮川ちい子：裁縫新教科書，自省堂書店，47，(1905)
- 10) 相山正式：新令適用小学校，裁縫科教案及教方，東京裁縫教授法研究会，18，(1909)
- 11) 渡辺滋：普通裁縫教科書，私立東京裁縫女学校出版部，108，(1912)
- 12) 神田順子：裁縫新教授書，大倉書店，87～88，(1912)
- 13) 渡辺きよ子：和服裁縫独まなび，春江堂書店，20，(1912)
- 14) 山口県立山口高等女学校：普通裁縫口授書（上巻）山口県山口高等女学校，54～55，(1913)
- 15) 武田太郎吉：裁縫の極意，明治出版社，35，(1914)
- 16) 喜多見佐喜子：裁縫指南，博文館，69，(1914)
- 17) 文部省：高等小学裁縫教授書，KK国定教科書共同販売所，9～10，(1916)
- 18) 篠田塩子編：裁縫おしへ草，一書堂書店，118，(1916)
- 19) 楓女史・小畑たか子編：家庭裁縫の栞，岡田文祥堂，20～21，(1916)
- 20) 栗原秀子・大和花子：洋和独まなび，精華堂書店，17，(1916)
- 21) 吉田房子：裁縫の要訣，石英堂書房，273～274，(1916)
- 22) 奈良女高師校長尾糸：裁縫教科書（上巻）修文館，106～107，(1919)
- 23) 寺田五三子：家庭裁縫全書（全）盛林堂，19，(1919)
- 24) 東京裁縫女学校長：裁縫全書・単衣の部，東京裁縫女学校出版部，91，(1921)
- 25) 東京裁縫研究会：裁縫案内・芳文堂書店，103，(1921)

高月：和服寸法選定の推移について（第3報）

- 26) 吉田調子・第七編裁縫と編物, 博文館, 114, (1927)
- 27) 佐伯ハマ子・渡辺芳苗：裁縫の急所, アルス, 128, (1923)
- 28) 広島県広島高等学校裁縫研究会著代表者, 寺地のぶ：裁縫備忘録, 広島県立広島高等女学校51~52, (1923)
- 29) 東京女高師成田順：高等小学並に高等女学校に於ける裁縫教材と其の指導法, 南行社, 3, (1924)
- 30) 東京女高師高橋イネ：裁縫筆記録, 文書堂, 6~7, (1924)
- 31) 飯塚マツヨメートル法新裁縫書, 大倉書店, 12, (1924)
- 32) 財団法人女子美術学校裁縫研究会メートル法による高等裁縫書（第1巻）倉持周治商店, 84, (1924)
- 33) 渡辺滋：中等教育新裁縫教科書（前編）東京裁縫女学校出版部, 52~53, (1924)
- 34) 小岩井規太郎・塩田真三：実用裁縫全書, 博文館, 60~61, (1925)
- 35) 奈良女高師伊藤英子：裁縫新教科書, 築成堂, 73, (1925)
- 36) 高山貞子：裁縫の知識, 崇文堂, 114~115, (1925)
- 37) 田村てう：メートル法使用新裁縫書, 宝文館, 73~74, (1925)
- 38) 岸田興一：裁縫教本（上巻）神奈川高女学会, 19, (1925)
- 39) 小林れい・丸山ちよ：メートル法裁縫教科書（上巻）三友堂書店, 27, (1925)
- 40) 東京女専吉村千鶴：現代裁縫教科書（一卷）澁川開成館, 141~142, (1925)
- 41) 県立佐賀高女裁縫研究会：裁縫新教本（和服の部）開西書院, 31, (1926)
- 42) 中川とら・佐藤松野：高等女学校用メートル法適用新編裁縫教科書（一卷）大日本図書発行KK 51~52, (1926)
- 43) 戸板蘭子：実用新式戸板裁縫全書, 広文堂書店, 43, (1926)
- 44) 福田梅子：家庭実用裁縫案内, 島鮮堂, 38, (1926)
- 45) 大妻ユタカ：模範裁縫教科書（一卷）三省堂, 34~35, (1926)
- 46) 成田順・松井よし：女学生の和服裁縫, 文洋社, 22, (1927)
- 47) 家庭裁縫学研究会編：家庭裁縫独学, 知進社, 91, (1927)
- 48) 大阪府立清水谷高女結城親学：中等和洋裁縫教科参考, 文祥堂, 18, (1927)
- 49) 岩田英子：和服裁縫参考書, 金洋堂書店, 42, (1927)
- 50) 市橋なみ・赤司ちう：メートルと鯨尺対照裁縫手芸教科書（全）東京裁縫研究会出版部, 86, (1927)
- 51) 東条武子：家庭裁縫の栞, 日吉堂本店, 28, (1927)
- 52) 三松八千代：更新裁縫教科書, 目黒書店, 16~17, (1928)
- 53) 木下竹次：最新裁縫教科書（上巻）目黒書店, 96, (1929)
- 54) 神谷ユキへ：家事・裁縫・手芸講座, 玄海堂, 49~50, (1931)
- 55) 石田はる：和服裁縫系統的精説上巻, 中文館書店, 24, (1932)
- 56) 奈良女子高等師範学校裁縫研究会代表米沢光：裁縫精義, 東洋図書, 6, (1933)
- 57) 東京市小学校裁縫研究会：新訂裁縫学習帳（高等2学年）青野文魁堂, 60, (1934)
- 58) 松村豊・今村品子：新々裁縫教科書（1）成林堂, 15, (1934)
- 59) 仙台市教育会：裁縫学習帳仙台市高等小学校第1学年, 仙台市教育会, 36, (1935)
- 60) 渡辺女学校東京女子専門学校裁縫研究会：中等学校用裁縫要義（上巻）渡辺女学校出版部, 20, (1937)
- 61) 社会教育協会：家事裁縫学習書・雪の巻, 社会教育協会, 3, (1938)
- 62) 福井県鯖江女子師範学校裁縫研究会：郷土に即せる裁縫学習帳尋常科第6学年用, 福井県国定教科書特約販売所, 97, (1938)
- 63) 三重県教育会代表関口勲：新制家事及裁縫教科書（下巻）日本青年教育会出版部, 27, (1938)
- 64) 青芳とみ子：和服裁縫百時間教授の実際, 婦人之友社, 51, (1939)
- 65) 高山春子：図解和服裁縫百科全書, 大洋社出版部, 146, (1939)

東京家政大学研究紀要第14集

- 66) 岡本すみ：精詳衣服新教本和服編，東京開成館，21，(1939)
- 67) 渡辺女学校東京女子専門学校裁縫研究会：専門学校用裁縫要義（上巻）渡辺女学校出版部，68，(1940)
- 68) 成田順・藤田とら・安東テイ：裁縫 I，実教出版KK，93，(1951)
- 69) 岩松マス：図解式和服裁縫全集前編，雄鷄社，24，(1952)
- 70) 松井和歌：和裁図鑑，暁図書KK，31，(1958)
- 71) 中村ヨシ：これからの和服裁縫，KK至誠堂，3~4，(1958)
- 72) 吉村八重野：図解和裁学習書，家政教育社，7，(1961)
- 73) 大妻女子大学被服工作研究室編代表者安東テイ：被服工作，KKコロナ社，21，(1961)
- 74) 波多江聰野：最新和裁全書，柴田書店，28~29，(1963)
- 75) 成田順・石原アイ：新時代の和縫，宇野書店，16，(1966)
- 76) 柴田志げえ：和服裁縫（全）KK建帛社，15，(1968)
- 77) 石崎忠司：きものハンドブック，文化服装学院出版局，433，(1968)
- 78) 共立女子大学代表山本らく，波多江穂野・草間芳子・堀内コノブ：新版和服裁縫全書，大日本図書KK，27，(1969)
- 79) 清水とき：きもの全科，家の光協会，67，(1970)
- 80) 高月智志子：和服寸法設定の推移について（1）東京家政大学紀要，第12集，(1971)
- 81) 高月智志子：和服寸法設定の推移について（2）東京家政大学紀要，第13集，(1972)